



## 3月定例会

P2~3 令和7年度むらの予算審議  
海浜運動公園の再整備に重点

P4 補正予算可決

P5 条例改正・同意

P6 議案の審議結果

P7 常任委員会調査報告

P8~15 一般質問 7人の議員 村政を問う

P16~17 村民インタビュー  
ヴィレステグループの皆さん

わくわくの1年生  
ドキドキの入学式



# 園の再整備に重点

## 第1回 定例会

3月定例会は、3月4日から21日まで18日間開催しました。  
条例の制定・一部改正、補正予算、同意案件、及び発議の30件、新年度予算4件を審議し、すべて原案可決・同意しました。

### 令和7年度当初予算

- 一般会計 **33億4,888万円**
- 国民健康保険事業  
特別会計 **3億8,601万円**
- 後期高齢者医療  
特別会計 **6,959万円**
- 下水道事業会計  
収益的支出 **1億5,647万円**  
資本的支出 **4,768万円**

### 主な歳出

#### 公園の再整備

**4億2942万円**

海浜運動公園再整備の事業者選定及びキャンプ場、テニスコート等の整備工事等。



▲公園の再整備

### 児童の朝の居場所づくり

**29万円**

小学校始業前に登校する低学年児童の居場所づくり。「まなびルーム」を開放。



▲朝の居場所「まなびルーム」

### 予防接種委託料

**2468万円**

令和7年4月から高齢者への带状疱疹ワクチン接種が正規接種となるための予防接種委託金等。

### スポーツ支援員の配置

**402万円**

地域のスポーツ活動を推進するため自治会への支援員配置。



▲オープンした商業施設

### 主な歳入

#### 固定資産税

**6億4609万円**

国道431号北側の農地が宅地になり、前年度比2776万1千円増の見込み。

### 議案第26号

#### 国民健康保険

#### 一般被保険者療養給付費

**2億4332万円**

前年度実績から診療報酬929万8千円減額など。

### 議案第27号

#### 後期高齢者医療

#### 後期高齢者医療広域連合への納付金

**6821万円**

### 議案第28号

#### 下水道事業

#### 収益的支出の予定額

**597万円の減額**

「経営戦略」の見直し支援業務の完了に伴うコンサル委託料の減。

令和7年度  
むらの  
予算審議

# 海浜運動公

討  
論

## 議案第25号 令和7年度 一般会計予算

- 反対** 江田加代 議員  
義務教育年代で海外への人材育成交流事業は早い。高額予算化は反対。
- 賛成** 齊田光門 議員  
小・中学生人材育成交流事業予算は適正である。

## 議案第26号 令和7年度 国民健康保険事業勘定特別会計予算

- 反対** 江田加代 議員  
0歳から39歳までの国保税は未納分と後期高齢者支援分であり、未成年者に高齢者支援分を課税するのは合理性がない。
- 賛成** 石原浩明 議員  
国民健康保険加入の低所得世帯には国の施策として2割、5割、7割の減免対応がされている。

## 議案第27号 令和7年度 後期高齢者医療特別会計予算

- 反対** 江田加代 議員  
医療保険の保険料を、少子化対策に使うのは目的を逸脱するものである。
- 賛成** 松田悦郎 議員  
国からの補助金で制度の安定化が図られているし、保険基盤の小さなわが村では重要な施策である。

● 賛否の分かれた議案 (賛成：○ 反対：×)

※議長は賛否表明しない

議案番号	件名	結果	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第25号	7年度 一般会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第26号	7年度 国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第27号	7年度 後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

予算審査の主な付帯意見

【総務課】

- ・ 農業者トレーニングセンターの受付窓口をヴィンステに変更を。
- ・ 防災訓練時に地下式消火栓の使用を。

【総合政策課】

- ・ 海浜運動公園の再整備は、村民との情報共有を。

【福祉保健課】

- ・ 認知症対応の取り組みと、情報共有の充実を図りたい。
- ・ 社会福祉協議会の現状把握や活動状況について情報を共有し、村民福祉の向上を。

【住民課】

- ・ マイナンバーカード取得は、施設入居者に不安がないよう対応されたい。
- ・ ゴミ置き場の修理は、その都度、要望があれば補助されたい。

【教育委員会】

- ・ 小中学生の人材育成交流事業は申し込みした児童・生徒を全員派遣すべきである。
- ・ ヴィンステへえづ運営審議会を見直し、図書館協議会の設置を。

西部広域ごみ処理施設整備のために

# 基金積立 2,000万円増額

(累計1億1,000万円、令和9年までに1億4,161万円を積立)

補正予算  
可決

### 補正予算額 (令和6年度)

- 一般会計 (第8回) ..... 41,624千円 減
- 国民健康保険事業勘定特別会計 ... 3,785千円 減 (第3回)
- 後期高齢者医療特別会計 ..... 2,880千円 増 (第2回)

### 〔主な質疑〕

#### 一般会計 (第8回)

#### 歳出

#### 《各種委員報酬など》

**Q** 各種委員報酬が減額されているがその理由は。

**A** 年度末、実績に依りて減額。

活動の停滞ではなく、目標が達成され会議開催の必要がなくなった。

#### 《青少年育成推進指導員報酬》

**Q** 13万円の減額は活動の停滞、人員の不足か。

**A** 推進指導員の配置が困難。配置予定は5名であるが現状は2名である。

#### 《文化財保護審議会委員報酬》

**Q** 3万6千円の減額は。

**A** 日野川右岸のはぜの木の移植のスケジュールが決定していたが、県の変更によりストップしている。

#### 《ウィレスティえづ運営審議会委員報酬》

**Q** 3万円の減額。ウィレスティえづが教育委員会へ移管されてから運営審議会は開催されているか。

**A** 教育委員会が担当してから2月20日に開催。令和6年度の取り組みについて審議いただいた。減額は委員の兼務などによるもの。

#### 《35人学級加配教員負担金》

**Q** 200万円減額の経緯は。

**A** 児童の転入により、1学年で村独自の加配の必要がなくなったため。

#### 《密閉燻蒸作業手数料》

**Q** 102万3千円減額の経過説明を。民俗資料館は燻蒸処理が必要と思うが、実際行われたか。

**A** 毎年、文化財保護のため行うものとして計上したが、専門業者の検査で効果が持続していることが確認されたため実施しなかった。



▲文化財を保護する民俗資料館

#### 歳入

#### 《村営住宅使用料》

**Q** 89万8千円の減額は何世帯か。

**A** 補正予算として増額され、今後の対策債の償還については問題ない。

**A** 6年3月1世帯、6月2世帯、11月1世帯、計4世帯の退去。



▲古くなった村営住宅

#### 《地方交付税》

**Q** 補正予算4809万円が増額されている。令和7年度から臨時財政対策債が廃止されるが問題はないか。

**A** 補正予算として増額され、今後の対策債の償還については問題ない。



# 小原氏を副村長に選任 奥田氏を教育長に任命

## 〔主な条例改正・同意など〕

〔日吉津村副村長を置くことに伴う関係条例の整理〕  
必要な条例の整備。

〔日吉津村デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例〕

住民サービスの向上のため、指定管理者制度の導入を行うもの。



▲指定管理者制度となるデイサービス

〔日吉津村空家等の適正管理に関する条例〕

空家法の定めのない措置等を規定するため、新たに条例を制定するもの。

〔日吉津村課制設置条例改正〕

総合政策課の廃止、総務課への統合などそれに伴う業務の移管を行う。

〔日吉津村高齢者筋力向上トレーニングルーム設置及び管理に関する条例改正〕

住民サービスの向上のため、指定管理者制度の導入を行えるようにする。



〔日吉津村立農業者トレーニングセンター設置及び管理に関する条例改正〕

農業者トレーニングセンターアリーナ利用について、新たに半面利用料金を設定する。令和7年7月1日以降の利用分に適用。



▲半面利用が可能となるトレセン

〔財産の無償貸付について〕

温泉のための土地及び付属設備を無償で貸し付けることにより、旧うなばら荘を温泉施設として有効活用することができ、海浜エリアの活性化に繋げるため。



▲今秋オープン予定の旧うなばら荘

〔日吉津温泉の利用許可申請について〕

日吉津温泉についてRコーポレーション株式会社が利用することについて議決を求めるもの。

### 同意案件

〔日吉津村教育委員会委員の任命〕

澤田裕二氏

〔日吉津村温泉審議会委員の委嘱〕

棚田勝至氏

〔日吉津村副村長の選任〕  
小原義人氏



〔日吉津村教育委員会教育長の任命〕  
奥田和弘氏



### 議員発議

〔日吉津村議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例について〕

村長ほか支給される期末手当の支給月数の変更に伴い、村議会議員の期末手当支給月数についても年間3・40月から3・45月に引き上げるもの。

## 議案の審議結果

(予算に係る議案を除く)

議案番号	件名	議決結果	斉田	加藤	江田	長合川	前田	石原	河井	橋井	松田	山路
第2号	刑法等の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第3号	日吉津村副村長定数条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	退	○	—
第4号	日吉津村副村長を置くことに伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	退	○	—
第5号	日吉津村職員等の旅費に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第6号	日吉津村物価高騰対応重点支援助利子補助基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第7号	日吉津村デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	—
第8号	日吉津村空家等の適正管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第9号	日吉津村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第10号	日吉津村課制設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第11号	日吉津村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第12号	日吉津村職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第13号	日吉津村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第14号	日吉津村長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第15号	日吉津村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第16号	日吉津村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第17号	日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第18号	日吉津村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第19号	日吉津村高齢者筋力向上トレーニングルーム設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	—
第20号	日吉津村立農業者トレーニングセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第21号	日吉津村立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第22号	令和6年度日吉津村一般会計補正予算（第8回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第23号	令和6年度日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第24号	令和6年度日吉津村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第29号	財産の無償貸付けについて	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
第30号	日吉津温泉の利用許可申請について	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—

○：賛成 ×：反対 退：退席 議長は賛否表明しない

# 常任委員会による 閉会中の調査報告

## 総務経済常任委員会

- 調査地 大山町庁舎
- 調査日 令和7年1月21日



▲空き家対策について説明を受ける

## 空き家対策について

### ●考察

空き家問題の打開策として、略式代執行に取り組みられた大山町を視察した。

大山町では、町まちづくり課・任意団体「ツクリテ」・移住交流センター「まぶや」などの連携により、空き家バンクが運用されている。しかし、法定相続人の全員死亡などにより「特定空き家等」に認定された危険な住宅・土蔵などの除去（取り壊し）について、役場が代執行を行った。

空き家対策は、喫緊の課題。「空家等対策特別措置法」に基づく手順を経て取り組む必要がある。大山町を参考事例に、本村でも検討すべきと感じた。

## 教育民生常任委員会

- 調査地 日吉津村社会福祉協議会
- 調査日 令和7年1月15日

### ●考察

社協は地域福祉の推進を図る団体として位置づけられている。社協の必要性和役割は大きく、住民のニーズを把握し、それに沿った福祉活動を行うことが地域福祉の基本と考える。

行政のパイプを利用した告知に努め、一人でも多くの人に利用していただけるよう、活性化に努めるべきだと感じた。

一方、各種事業を含め、さらに発展させるためには、人材確保・育成・定着が課題となっている。

## 社会福祉協議会の 事業について



▲認知症予防教室

一般質問

# 村政を

# 問う



7人の議員が  
質問しました。



### 3月5日(水)

議員	ページ	質問事項
まつだ 松田 えつろう 悦郎	9	1. 旧うなばら荘譲渡の経緯を 2. 海浜運動公園再整備の方向性は
さいた 齊田 てるゆき 光門	10	1. 副村長の選任を早急に 2. 高齢化対策の現況は
はせがわやすひろ 長谷川康弘	11	1. 海浜エリアの活性化の今後は 2. ふるさと納税の課題と今後は
いしはら 石原 ひろあき 浩明	12	1. 健康寿命をアップする取組みを
まえだ 前田 のほる 昇	13	1. 海浜運動公園整備計画の詳細を 2. ふるさと納税の活用へ村民参画を
えだ 江田 かよ 加代	14	1. 在宅介護に行政支援を 2. 村独自の奨学金制度の充実を
かわなか 河中 ひろこ 博子	15	1. 活性化で新たな魅力ある村へ



松田悦郎 議員

# 旧うなばら荘譲渡の経緯を

## 村長 東京の企業に譲渡が可能と判断



▲名称は『うなばら』を残したい意向である

**Q**

うなばら荘の閉館から3年前に新たな民間企業が活用する道筋が見える状況となった。譲渡までには多くの苦労があったと思うし、村民もひと安心と思う。今回の譲渡までの経緯と譲渡先の民間企業について伺う。

**A**

**村長** 令和4年9月にヤードクリエーション社から事業中止の申し入れがあった。その後、村とヤードクリエーション社、西部広域管理組合の3者で連携協力しながら第三者譲渡に向けた取り組みを進めた。

**Q** 子どもを持つ保護者が、遊戯場整備等を望んでいる。海浜運動公園について、

**Q**

**村長** 事業費は地方経済生活創生交付金を申請する

海浜運動公園再整備の方向性は

問い合わせの事業者に対し、3者で情報共有し、内覧や物件の説明、資料提供等を継続して行ってきた。その結果、R・アクト・ホールディング(株)から具体的な事業内容の提案があり、内容を精査した結果、譲渡する方向で現在話を進めている。

また、事業に係る公募資料を作成し、3月中には公表し事業者の公募を募りたい。

**A** 令和7年度にキャンプ場のリニューアルとテニスコート、ゲートボール場をスポーツ広場として整備する。

**A** **村長**

令和7年度からの再整備計画とスケジュールを伺う。

8年度は子どもの交流拠点施設を芝生広場に整備する。具体的な整備内容は、7年度に概要を検討しモデルプランを作成する。それをもとに民間業者へ公募を行い、提案を受けて選定する。



▲この場所はスポーツ広場に変更する



齊田光門 議員

# 副村長の選任を早急に

## 村長 副村長設置関係条例を提案

**Q** ①副村長選任の環境づくりを。

②副村長の役割や人物像は。

③来年度の採用予定と退職者の再任用の状況は。

④人事評価は職員の育成制度になっているか。

**A** ①本議会に関する

係条例を提案、この内容が副村長の環境整備である。

②副村長の役割は村長の補佐、村民との対話、組織のマネージメントなど。

③一般的な人物像は答弁を控える。

④一般事務職2名、保育士1名を採用予定。再任用職員2名の退職を予定している。

高齢化対策の現況は

村長 デイサービスセンターを指定管理者制度に

**Q** ①令和7年度当初予算（高齢者・こども）の配分比率は。

②行政による見守りサービスの現況と活動強化は。

③地域包括センターの活用状況は。

④介護サービスの活用状況は。

**A** 村長

①高齢者向けの当初予算は、2億5178万1千円で全体の7.4%、こども向



▲利用者が減少しているデイサービス

けの当初予算は、3億8959万6千円で全体の11.5%である。

②民生児童委員・主任児童委員、福祉推進委員と社協の職員が訪問・相談・支援活動を行っている。6年度4月～1月の訪問回数は延べ496件である。

③高齢者への相談支援は227件。介護保険サービス申請や予防支援相談は72件。要支援

者のケアプラン支援は21名について対応している。

④デイサービスセンターの利用者数が令和2年度には7300名あったが、令和4年度5600名に減少し、以降も赤字経営の状況にある。本議会で指定

管理者制度が可能となる条例改正を提案する。



▲打合せをする副村長



長谷川康弘 議員

# 海浜エリアの活性化の今後は

村長 海浜エリア一帯の賑わいを創出したい



▲どう変わる海浜運動公園

Q

海浜運動公園の再整備計画で

今年度計画にあがっていた国の整備補助金申請、実施方針、公募資料作成等の進捗はどうか。

また、旧うなばら荘も譲渡の見込みが出てきている。正式契約となれば、海浜エリアの一部として、村としても活性化に結び付けることを考えているか。

A

村長

整備費用につ

いて、国の公的資金を活用するために、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を申請している。

実施方針については、民間の経営能力及び技術を活用したいと考え、2月に策定した。公募資料については現在作成中であり、今月中に公表できると考

えている。

旧うなばら荘の次の事業者への譲渡が正式契約となれば、準備段階あるいは営業開始後も連携を図っていく必要があると考えている。

活性化の観点では、日吉津村に長期滞在してもらえような事業展開を、事業者と一緒に考えていきたい。

今後、海浜運動公園の再整備事業との相乗効果で、海浜エリア一帯の賑わいを創出できるように進めたい。

ふるさと納税の課題と  
村長 PRの強化と  
新たな名物を作りたい  
今後は

Q

ふるさと納税は以前より金額が減っている。今後の取り組みをどう考えているか。

A

村長

ふるさと納税は減少傾向である。令和元年度は1億98百万円であったが、令和6年度は2月末で38百万円で、鳥取県産の梨が確保できなかったことが大きな要因であった。新年度から寄附額を増やすため、東京でイベントをするなどPRの強化を図りたいと考えている。梨の確保については、新たな業者と協議を進めている。民間と共同で、特産品開発や農産物の加工・販売を目的とした地域公社を設立し、返礼品となるような新たな日吉津の名物を作り出したいと考えている。



▲ふるさと納税額を増やすには

ふるさと納税





石原浩明 議員

# 健康寿命をアップする取組みを

## 村長 さまざまなお事業を行っている



日吉津村が「住み続けたい村」になるため、また社会保障費を抑えるためにも、高齢者の健康寿命を伸ばすことは欠かせない。本村の取り組みについて伺う。

健康寿命は。  
 ②本村のフレイル対策は。  
 ③認知症予防など社会的フレイル対策は。  
 ④社会参加を進めるための老人クラブ等の取り組みは。



村長

①7年1月末で28・4パーセント。健康寿命とほぼ同じ意味あいの本村の平均自立期間(要介護1まで)は男性が80・52歳、女性が86・37歳。

に相談窓口を設置し、様々な機会をとらえてフレイル予防を行っている。また体を動かす動機付けとして、平成29年に開発した「元氣もりもり体操」を行っている。

④在宅高齢者の生きがいづくり、活動の場として老人クラブの充実が、高齢者福祉につながる。老人クラブでの活動の機会として、グラウンド・ゴルフ、ウォーキング、ニュースポーツや料理教室などに取り組まれている。小学校においても、いも苗植え、いもほり、昔あそびなど、さまざま活動で子どもたち



▲鳥取方式による認知症予防教室

②成人期から70歳まで、ウォーキング教室や生活習慣病予防教室などの各種保健事業を行っている。フレイル予防としては県作成のリーフレットを活用して「まちの保健室」等で、若い世代に向けても啓発に取り組んでいる。

③地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携して、物忘れ相談会や認知症予防の講演会などを行っている。またアプリでの脳の健康セルフチェックも行っている。

社会福祉協議会では、一般介護予防として鳥取方式を利用した認知症予防教室を開催している。

に指導していただいたり、一緒に活動していただいたりしている。老人クラブの皆様が活き活きと活動していただくことが、地域の元氣や、子どもたちを育てることもつながるものと認識している。村として助成等を行っているが、引き続き応援していきたい。



▲ニュースポーツ大会(下口仲よし会)



前田 昇 議員

# 海浜運動公園整備計画の詳細を

## 村長 令和7年・8年度に整備する



▲キャンプ場の一部をグランピング施設に

**Q** 令和7年度公園の再整備に伴う予算は、4億円を超える。整備後の管理は、民間業者へ任せるとい

**A** 7年度は、キャンプ場のリニューアルなどを行うため、設計施工事業者を6月まで募集し、審査会を経て優先交渉権者を選定。令和8年3月までに完成させ、その管理には、指定管理者制度を導入

**Q** 3月1日の住民説明会では予算額も触れられず、7年度早々のすすめ方について、村民には説明できていないのでは。

**A** その時点では予算について示していない。事業の詳細については、民間事業者の提案を受けて決める。

てきたが、今回の募集要項を見ると、観光施設として整備し、移住定住を促進、商業エリアの活性化を目指すとして、方針が大きく変わったことを、村民に伝えていない。

**A** 地方創生の観点からそのように記載しているが、村民利用と両方を目指すことに変わりはない。

**Q** 浜公園は「村民のいこいの場」とされ

**Q** 8年度に芝生広場で計画されている「屋内遊戯場」の規模や内容はいかに

**A** これまで、海

**A** 規模や内容、有料か無料かなどについては、今後決めていきたい。

**Q** 納税者の意向で最も多いのは「村長が必要と考える事業」である。村民の声や提案を受けても十分対応できる。

**A** 各地で取り組まれているクラウドファンディング型の手法について検討したい。

ふるさと納税の活用へ  
村民参画を  
村長 その用途については、納税者の意向に沿って決めている



▲チューリップ栽培にも、ふるさと納税を活用

**Q** ふるさと納税の用途について、村の委員会の議題として意見をもらったたり、チェックをいただくことは、村民参画の観点から最低限行うべきだ。その上で、村民や村出身者に、村へのふるさと納税について理解が広がるよう工夫された

**A** 総務課長 「村補助金審査会」の場で扱うことは妥当だと考えている。



江田加代 議員

# 在宅介護に行政支援を

## 村長 実態を確認しながら考えていく

**Q** 介護保険は施行から25年を迎えた。見直しの度に利用者やその家族、サービス提供者の負担が増している。その都度国が示す財政的持続可能構想が給付抑制と利用者負担増であるなら、

**A** 村独自の支援が必要ではないか。

**村長**

決して給付抑制や利用者負担増を目的とした制度ではない。将来の年齢構成をふまえて持続可能な制度として介護保険を運営して

**Q** いく必要がある。高齢者福祉を介護保険制度に移し、保険料は収納努力せざる徴収できる年金からの天引きでは、介護保険を利用されていない83%の高齢者の生活は見えにくく、実態に合わない負担を強い

**Q** 介護・後期高齢とも負担率が上昇し、頼りの年金は上がらない状況だ。

**村長**

**A** 介護や後期高齢保険料の負担も増えるなか、物価も非常に高くなっており「生き苦しい」という生活を

しているのではないか。

**村長**

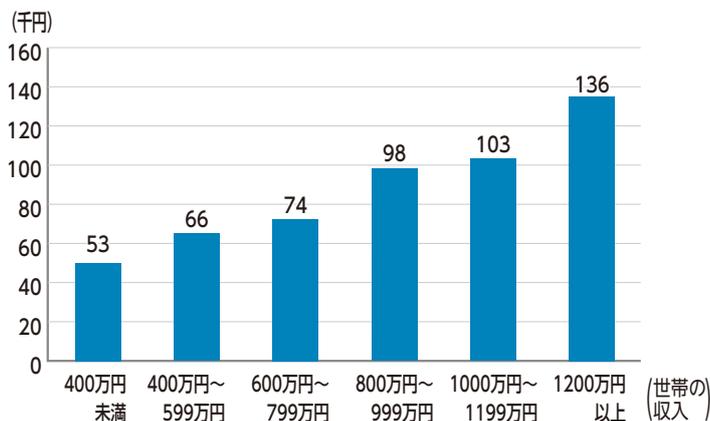
**A** 介護認定率は全国や鳥取県より低くなっている。健康意識の高い高齢者が増えていること、継続的に実施している介護予防事業の成果によるもの等が認定率が低い要因と考えられる。

ではないか、心配するところである。広域連合ではニーズ調査等を行いながら負担軽減に努力している。介護保険の未利用者の実態が見えていないのではと意見をいただいたので、実態を確認しながら必要な支援を考えていく。



▲91歳の春 初めてのオレンジカフェ

家庭の経済力で広がる体験格差  
(公立中学校の「その他の学校外活動費」)



▲2023年文部科学省「子どもの学習費調査」より

**村独自の奨学金制度の充実を教育長 今後も周知に努めたい**

**Q** 親の所得状況で子どもが進学を諦めることがないよう、村独自の奨学金

制度の充実を求める。

**教育長**

**A** 日吉津村の就学資金貸与制度は昭和

42年から導入、今年度まで139人が利用されている。家庭の経済状況が変化した場合の対応も行ってきており、もっとこうしてほしいという意見を今のところうかがっていない。「知らなかった」「分

からなかった」「申請できなかった」ということがないように周知に努めていきたい。



河中博子 議員

# 活性化で新たな魅力ある村へ

## 村長 新たな発想は活性化につながる



▲海浜運動公園 新たな村のシンボルに

**Q**

国道431号沿道の開発、海浜運動公園の整備とあわせ、旧うなばら荘も営業再開の目途が立った。

これを、単なる地域開発に終わらせるのではなく、村民全体にプラス効果が波及し、村づくりの活性化につながるべきだと思うが。

**A**

村長

海浜運動公園の再整備事業というところで、キャンプ場をはじめ運動広場、子どもたちが集まれる場所作りを計画している。このことは村全体に波及効果は大きいと考えている。

旧うなばら荘についても、宿泊された方が何かのツアーに参加したり、あるいは農業体験をしたり、村のプラスになるように組み合わせていくことが、今後の課題であろう。

**Q**

今回の開発で関係人口という言葉が使われている。これは村の活性化にとって大事なポイントだと思うが、村が考える関係人口とはどういうものか。

**A**

村長

村外から訪れた方から新しい発想をいただくことは、活性化にとって非常に良いアイデアで、ぜひとも取り組んでいくべきだと考えている。

例えば、キャンプ場とか旧うなばら荘に來られた方が、いい村だなどと思い、その後関係人口としていろいろな面で関わっていたり、それを糸口として進めていきたい。

**Q**

まずは日吉津村に關係を持つ人々を一人でも多く組織化し、その取り組みを継続していくうえで、移住・定住につなげていけたら良いと思う。

村づくりにとって、移住・定住、農業問題、経済効果など、村全体をレベルアップする施策として、関係人口を大切に位置づける必要があると思うが。

**A**

村長

日吉津村に來られた一人一人と關係性を築いていきノウハ

ウをお借りする、そうすることで、村の活性化や組織化につながっていくと思う。そのような流れを少しずつでも作っていくことが重要だと思っている。



▲まだまだ続くか 国道431号沿道開発

# で ませんか

ヴィレステひえづでは、  
いろいろなグループ活動  
が行われています。その  
うち、5つのグループの方々  
にお話を聞きました。

## ◆出席者

- 内藤 恭子さん (習字)
- 澤田 容子さん (ペーパークイリング)
- 益田れい子さん (コーラス)
- 加藤佐江子さん (太極拳)
- 加納 尚樹さん (和太鼓囃子隊ひえづのわ)

Q. サークルの紹介  
と始めたきっかけな  
どを、教えてください

**内藤さん** 習字サー

クルは、全員で(大人、  
子ども合わせて) 25人  
程度います。

子どものころから、  
書道をしていて、一時  
離れた時がありました  
が、日吉津でもできな  
いかと思っていたとこ  
ろ、先生がおられたの  
で再開しました。



内藤 恭子さん

**澤田さん** ペーパー  
クイリングをしていま  
す。3ミリと5ミリの  
様々な色の紙を巻いて  
作っていきます。  
中学生から70代まで  
10人で活動しています。

きっかけは、体験教  
室です。続けたいとい  
う声で10名に増えまし  
た。

**益田さん** コーラス

をしています。最初は、  
近所の人に誘われて入  
りました。



益田れい子さん

**加藤さん** ヨガをし  
ていましたが、退職後、  
準備体操のストレッチ  
もよいからと、太極拳  
に誘われました。

**加納さん** もともと

は、妻が太鼓をやった  
いたので始めました。  
音が大きいので、どこ  
かで演奏できないか、  
ヴィレステで相談した  
ところ、ミニコンサー  
トみたいな形でやるこ  
とができました。



▲ペーパークイリングの作品

メンバー募集をして、  
大人8人と子どもたち  
で活動しています。

Q. どんどこころが  
楽しいですか

**内藤さん** その時間

は、仕事も家庭のこと  
も忘れて自分だけの時  
間で、無になれます。  
先生が色々なアイデア  
を持っておられて、裏  
側に書いたり、丸めて  
から書いたり、楽しい  
です。

**澤田さん** 指を使う

し、使う色を選んだり、  
構図を考えたりするの

で、頭の体操になりま  
す。

**作品**ができた時に、

会員同士で見せ合うの  
も楽しいです。

ふれあいフェスタに  
大きな作品を出すのも  
励みになります。



澤田 容子さん

**益田さん** 思い切り

声を出すのを楽しんで  
いますし、健  
康にも良いと  
思います。

定年で仕事

をやめて、人  
とあまり話さ  
なくなり、物  
を飲み込む力  
が弱るのでは  
ないかと思っ  
たのですが、  
歌うように



▲習字グループの活動



加藤佐江子さん

**加藤さん** 太極拳は  
習得するのに時間がか  
かりますが、先生にも  
励まされてやってきま  
した。  
8年ぐらいやってき  
て、先生の言われるこ  
とが、「わかった」と  
いう時があり、やめら

# 村民インタビュー グループ活動

# ヴィレステ 楽しみ

益田さん 他だと練習場所を借りるのにか

Q. 活動する中で、ヴィレステや村に対して、感じていることはありますか



加納 尚樹さん

加納さん 皆さんに知っていただいて、ねんりんピックの日吉津会場など、いろいろなイベントに声をかけてもらうことも増えました。太鼓だけでなく、笛やお囃子もあり、楽しんでもらっています。

れなくなりまして山登りもしています。が、体幹が鍛えられて、下りでもバランスよく降りることができています。



▲和太鼓



▲コーラス



太極拳▶

加藤さん ヴィレステなりのお金がかかるけど、ホールで練習させてもらえて助かっています。

加納さん テホールには鏡があるので、練習のときに姿勢や動きのチェックができて助かっています。初めの、

内藤さん 身近なと

Q. 村や議会に意見や要望があれば

加納さん 子育て中なので、子ども園のことなどに興味があります。

みなさん 読んでい

Q. 議会ひえづは読んでいただいていますか

ミニコンサートの時に相談に乗ってもらったり、トレセンを練習場所使わせてもらったありがたいです。

内藤さん

グループ活動などに興味を持たれた方は、ヴィレステひえづ（☎27-0606）までお問い合わせください。

楽しみながら、生き生きと活動しておられる様子が伝わってきました。ご協力いただきありがとうございました。

みなさん 読んでいます。自分の関係あるところはよく見るが、そのほかは斜め読みするので、村民の興味のある事を取り上げるとよいと思います。

みなさん 431号沿線が混んでいて、交差点が危ないと思います。また、村の治安が悪くならないとよいなと思います。

うなばら荘や海浜運動公園整備についての情報を知らせてほしいです。

# 議会のうごき

## 桜の育樹作業

とき 4月2日(水)  
ところ 日野川土手桜堤



王子製紙所有地に、平成5年から植樹された桜が、今年も見事に咲きました。恒例の育樹作業として、施肥や樹にはびこったツル切りなど、王子製紙の皆さんとともに、議員・役場管理職で行いました。

## 自治功労者の表彰

とき 2月19日(水)  
ところ 鳥取市「ホテルモナーク」



皆さんのお陰でここまでつとめてきました(加藤)

加藤修議員は議員在職25年、江田加代議員は在職22年にわたり、地方自治・議会活動に尽力された功績により、鳥取県町村議長会より表彰されました。



初心にかえってがんばります(江田)

## 県町村議会の広報コンクール 優秀賞

「議会ひえづ」が、7年連続の優秀賞に輝きました。村民インタビュ、読みやすい紙面などを評価いただきました。

村民の皆さんに、議会活動や役場の施策について、情報提供できるように、年4回発行しています。分かりやすい紙面づくりに、引き続き努めてまいります。



## 編集後記



議会「ひえづ」を発行しホッとしています。村民の皆さんに読みやすいものになったかどうか。議会の結果報告は、堅苦しく読みにくいという声もいただきましたが、議会としてははずせない事項だけに、分かりやすく感じるよう工夫が必要だと感じています。親しみある紙面づくりのために効果的な村民インタビュにご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

—前田 記—

次回の定例会は  
6月です



## 表紙 小学校入学式

### 【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・長谷川康弘  
齊田 光門・石原 浩明  
松田 悦郎